飯田市環境基本計画　21’いいだ環境プラン（第４次改訂版）（案）の概要

目指す環境像	環境政策	3つの環境政策を実現するための基本的方向	基礎指標（基本的方向の進行管理指標）	基本的方向に基づく取り組み
人と自然が共生する環境のまち	気候変動の緩和と適応	1 社会の低炭素化の推進	<指標1>　飯田市全体が排出する温室効果ガスの排出量（t-CO_2） <指標2>　再生可能エネルギー利用等による温室効果ガスの削減量（t-CO_2） <指標3>　市内の太陽光発電電力量が一般家庭の年間電力消費量に占める割合（%） <指標4>　環境負荷低減活動を継続的に実施している市民の割合（%） <指標5>　環境マネジメントシステムに取り組んでいる事業所数（所） <指標6>　一世帯あたりの温室効果ガス平均排出量（t-CO_2） <指標7>　飯田市内の森林管理による温室効果ガスの吸収量（t-CO_2）	1-1 再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくり 1-2 環境にやさしい交通社会の形成 1-3 リニア時代を見据えた低炭素な地域づくり 1-4 未利用エネルギー等の利活用の推進
		2 エコな「ライフ&ワーク」スタイルの推進		2-1 家庭における環境負荷低減活動の推進 2-2 事業活動における環境負荷低減活動の推進 2-3 学校・保育園における環境負荷低減活動の推進 2-4 地域活動における環境負荷低減活動の推進
		3 気候変動への適応	管理指標としては設定しない。活動内容や実績を重視する。	3-1 気候変動への「適応」に関する研究 3-2 環境情報の適切な提供
	循環型社会の形成	4 廃棄物の減量及び適正処理と地域環境美化の推進	<指標8>　市民一人あたりが１日に排出するごみの量（家庭系一般廃棄物）（g） <指標9>　環境美化活動に取り組んだ市民等（地域、事業者、団体、市民）の割合（%）	4-1 リデュース（排出抑制）、リユース（再使用）の推進 4-2 リサイクル（再生利用）の推進 4-3 ごみの適正処理の推進 4-4 不法投棄の根絶と環境美化の推進 4-5 処理施設の適正管理と整備への協力
	自然環境・生活環境・生物多様性の保全	5 緑と生物多様性の保全	<指標10>　自然とのふれあいを持ったことがある市民の割合（%） <指標11>　一斉水辺等美化活動に参加した世帯の割合（%） <指標12>　森林面積（国有林を除く）（ha） <指標13>　森林で行う間伐面積のうち搬出間伐面積（ha）とその割合（%） <指標14>　ユネスコエコパークエリア内のシカの駆除頭数（頭）	5-1 身近な環境や里地里山の保全と整備 5-2 森林の整備による多面的な機能の向上とそれを支える体制づくり 5-3 森や里地里山の資源の利活用 5-4 人の営みと調和した環境・景観保全の推進（リニア時代を見据えて） 5-5 ユネスコエコパーク等の自然環境の保全及び自然と共生する地域活動の推進
		6 生活環境の向上	<指標15>　環境汚染に関する通報件数（件） <指標16>　微小粒子状物質（PM2.5）の現状と動向 <指標17>　松川中流域および野底川の水質階級（水質階級Ⅰの指標生物の割合）（階級レベル） <指標18>　河川BODの環境基準値達成率（%） <指標19>　騒音の環境基準値達成率（%） <指標20>　悪臭の防止目標の基準値達成率（%） <指標21>　有害物質の現状と動向（重大な影響の有無）	6-1 大気汚染被害の把握と改善 6-2 河川・地下水質の維持向上 6-3 騒音・振動被害の把握と改善 6-4 悪臭被害の把握と改善 6-5 有害物質（放射性物質等）による汚染の把握と改善 6-6 住宅や土地の管理不全による生活環境の悪化の防止
	基本的方向1～6に関わる政策	7 環境学習の推進及び環境人材の育成と活躍の場の創出	管理指標としては設定しない。活動内容や実績を重視する。	7-1 子どもの環境学習を進める仕組みづくり 7-2 生涯学習としての環境学習を進める仕組みづくり 7-3 環境人材の育成と活躍できる環境づくり